企業誘致について

四竈　英夫

〔質問〕今般、深谷地区に新たな企業誘致が実現することとなり、用地造成が開始されたことは喜ばしいことである。

この企業誘致は、市からの働きかけによるものか、企業からの引き合いによるものか伺う。

〔答弁〕【市長】本用地は、白石市土地開発公社が先行取得をして造成しているが、まだ売買契約には至っていないため、詳細は控えさせていただく。

〔質問〕造成の規模や企業の業種についても公表できないか。

〔答弁〕【企業立地定住促進課長】面積は4筆で約7千㎡である。これ以上の答弁は控えさせていただく。

〔質問〕今後の企業誘致活動方針を伺う。

〔答弁〕【市長】私みずからのトップセールスによるPRと企業訪問、市内立地企業との情報共有を図り、用地についてはオーダーメード方式を基本とし、状況によっては工業団地の造成も念頭に置いて慎重に進めて行きたい。

◎旧小原中学校跡地の活用について

〔質問〕旧小原中学校は平成5年に小原小学校と合併移転し、その跡地は利用されないままとなっている。

この跡地をグラウンドゴルフのコートやその他スポーツ・レクリエーション施設に整備してはどうか。

〔答弁〕【市長】当該跡地は普通財産として管理しており、貸し付け・売買などにより経済的価値を高める財産であるため、スポーツ施設として整備する予定はないが、地元の皆さんがぜひ活用したいということであれば、相談させていただきたい。

◎校内いじめ対策について

〔質問〕本市における校内いじめはないと認識しているが、それらに類似したこともないのか伺う。

〔答弁〕【教育長】いじめがないわけではない。

平成28年度では小学校で8件、中学校で11件、冷やかしや悪口等があったが全て解消している。

今年度は5月で小学校2件、中学校3件あり、解消したものと指導継続中のものがある。

【その他の質問】

◎学校における防災訓練について

ため池の防災・減災対策について

伊藤　勝美

〔質問〕ため池は、農業用水の供給に加え、自然環境の保全など多面的機能を持つ施設である。しかし、地震や豪雨などの災害により決壊すると、下流域に多大な被害をもたらすことから、防災上においても重要な施設と考えるが、現在の整備状況を伺う。

〔答弁〕【建設産業部長】地元水利組合から修繕等の要望があった場合、随時、現地確認などを行い、直営費により対応している。また、洪水や豪雨に備えて非かんがい期の落水や低水位管理を呼びかけ、防災・減災に努めている。

〔質問〕ため池の耐震整備には多額の費用と時間を要すると思うが、整備についてどのように考えているのか伺う。

〔答弁〕【市長】防災重点ため池を中心に、白石市土地改良区、水利組合との連携のもと、現状把握に努め、県とも相談しながら県営ため池整備事業の採択も視野に入れて取り組みたいと考えている。

〔質問〕大雨や地震等により堤体が決壊した場合、直ちに住民が避難行動をとれるよう、浸水予想区域や避難場所等の避難活用情報を記載した「ため池ハザードマップ」を整備すべきではないかと考えるが、見解を伺う。

〔答弁〕【市長】防災重点ため池については、県によるハザードマップ作成支援を希望しているところであり、作成後は市ホームページ等で地域住民へ情報提供したいと考えている。

◎米の生産調整について

〔質問〕平成30年産からは、国は配分を廃止し、農家やJA等が販売状況や経営戦略に基づいて生産量を決定する仕組みに変わることになるが、生産調整についての見解を伺う。

〔答弁〕【市長】過剰作付への抑止力低下に伴う米価下落の懸念から、当面の間、宮城県農業再生協議会が県産米の在庫、契約状況、認定方針、需要見込み等を踏まえた宮城県水田農業推進方針を策定、提示する。市としては、提示された目標を踏まえた方針を生産者に提示する予定である。

【その他の質問】

◎自治会未加入世帯について

◎「30（さんまる）・10（いちまる）」運動の普及啓発について